自分らしさをとりもどす
精一杯のお手伝い。

Always beside you

いつもあなたのそばに

## 広島中央リハビリテーション病院


TEL.082-207-2785 FAX.082-207-2595

住　　所　〒730-0047　広島県広島市中区平野町 6 番 24 号
名　　称　医療法人せいわ会　広島中央リハビリテーション病院
開　　設　2020 年（令和 2 年）6 月 1 日
病 床 数　110 床（回復期リハビリテーション病床 110 床）
診療科目　リハビリテーション科・内科・腎臓透析外科・外科・皮膚科


SNS や動画で情報発信中！

https://hirochu-rh.jp/

ホームページ　Facebook　Instagram　YouTube

アクセス

病院周辺図

駐車場完備

市内電車（広電）でお越しの方

- 5 広島駅～広島港：広島駅 → 的場町 → 南区役所前
- 3 西広島～広島港：広電西広島駅 → 本通 → 広電本社前

徒歩7分 / 徒歩8分 → 広島中央リハビリテーション病院

バスでお越しの方

- 広島バス50号線（観音新町・アルパーク行き）：広島駅 → 日赤病院前 → 広電本社前
- 広電バス12号線（仁保沖町行き）：紙屋町 → 竹屋町 → 広電ボウル前

徒歩8分 / 徒歩2分 → 広島中央リハビリテーション病院

広島中央
リハビリテーション病院

# 支える人と受ける人の信頼に応え、価値のあ る質の高いサービスを提供してまいります。

### 4つの想いがひとつになりました

［患者さま］ ［家族］ ［地域］ ［医療・介護］

ひとりではできないことも輪になるとできたりする
確かな医療とまごころの介護で笑顔が生まれるキモチ
つながる 安心のサポートで皆さまをささえます
［患者さま］［ご家族］［地域］［医療・介護］
4つの想いをひとつに・・・

### 病院の理念

自分らしさをとりもどす
精一杯のお手伝い。

### 病院の基本方針

1. 患者さまの立場から発想し、いつも謙虚な気持ちで個と組織改善します。
2. 最先端の知識と技術を習得し、安全・安心で質の高い患者さま中心のチーム医療を実践します。
3. 笑顔でのあいさつを基本とし、温かみと思いやりのある療養環境・職場環境をつくります。

2020年6月より回復期リハビリテーションに特化し、人工呼吸器管理や透析医療をはじめとして全身管理の対応もできる病院としてスタートいたしました。
広島中央リハビリテーション病院は広島市中心部にあり、リハビリテーションを必要とされる方、ご家族・ご友人にとっても利便性の高い立地にあります。医師・看護師・リハビリ専門職・その他の医療専門職が患者さまを中心としたチームを形成し、在宅復帰・社会復帰のお手伝いをいたします。
広島市の医療福祉の発展に貢献すべく、日々変化する社会を見極めながら、変革を恐れることなく、価値のある質の高いサービスを提供してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長　眞田　修

## チーム医療による集中的なリハビリ治療

### 圧倒的なマンパワー

多職種がそれぞれの専門性を活かし、
高度な技術と深い愛情をもって
患者さまの１日も早い社会復帰をサポートします。

当院では、患者さまが一日も早く快適な日常生活を送ることができるよう、医師、看護師、社会福祉士、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、介護士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士といった、各職種がチームとなり、医療・介護サービスを提供。脳障害や運動マヒをはじめとする後遺症の回復や、日常動作の改善・向上をめざします。
患者さまお一人おひとりに合わせた計画を立て、専門のスタッフによるリハビリテーションを実施。
また入院中のリハビリだけでなく、退院後の生活を見据え、各種手続きや情報提供など、退院し社会や家庭に復帰できるようサポートを行っています。

その人らしさを大切に寄り添ったリハビリを

# 当院でのリハビリテーション

Rehabilitation

患者さまの「自分らしい生活」をとりもどすため、
個別性の高いリハビリテーションプログラムを作成します。

## リハビリテーションセンター

7階にあるリハビリテーションセンターは、景観もよく自宅・屋外を想定した空間と様々なリハビリ機器を揃えており、リハビリテーションに最適な環境です。

## リハビリ機器のご紹介

**～充実した設備の一部を紹介～**

天井走行型体重免荷レール
(BWSOT)

天井吊り下げ型体重免荷装置
(BWSTT)

HUR（フー）

CoCoroe AR2

IVES（アイビス）

NUSTEP（ニューステップ）

## リハビリハウス

リハビリハウス内は、ご自宅に限りなく近い環境を想定するため、2種類のトイレやお風呂を設け、退院前の動作確認を行うことができます。

トイレ（右麻痺訓練）

お風呂（浅型）

玄関

トイレ（左麻痺訓練）

お風呂（深型）

和室

## 様々なシーンのリハビリテーション環境

### リハビリスペース（各病棟）

各階へリハビリスペースを設けることで、機能訓練室中心のリハビリテーションだけでなく、病棟を中核に捉えたリハビリテーションを行うことができます。

### リハビリ階段

4階病棟から7階リハビリテーション室までのリハビリ専用階段があり、階段昇降のリハビリテーションをすることができます。

### リハビリテラス

屋上の開放感の中、外周歩行や砂利道、階段、スロープ、段差、でこぼこ道など、自宅での周辺環境に近い状態でリハビリテーションができます。

### 京橋川遊歩道

当院の周辺にある遊歩道を活用したリハビリテーションでは、四季の変化を楽しむことができます。

## 当院の特徴

広島市中心部で唯一、リハビリテーションに特化した当院では、リハビリ専門医を中心とし、病気や症状ごとに応じた最善のリハビリテーションを提供します。

### リハビリ専門医による管理

リハビリテーション専門医を中心に治療方針等を検討し、リハビリテーション実施計画を実行します。

### 365日 毎日リハビリ

365日 毎日患者さまの状態に合わせたリハビリテーションを提供しています。(最大 3 時間 / 日)

### 多職種による チームアプローチ

多くの職種それぞれの専門性をもとに協働し、集中的なリハビリテーションを実施することによって、より早期の在宅復帰をめざします。

1 日も早い在宅復帰をめざします

# 回復期リハビリテーション病棟

Recovery Rehabilitation

回復期リハビリテーション病棟は、
在宅復帰を目標に、集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

医学的リハビリテーションには急性期・回復期・維持期の 3 つの段階があります

発症
入院
→ 急性期リハビリ →
回復期リハビリ
（回復期リハビリ病棟）
→ 維持期リハビリ
（在宅）（施設）

回復期リハビリテーションとは、発症 1 か月を目処とした急性期リハビリテーションの後、疾患管理に留意しつつ、能動的で多彩な訓練を中心とするリハビリテーションのことを指します。

| 対象となる疾患 | 入院期間 |
|---|---|
| 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎 、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態または義肢装着訓練を要する状態 | 150日以内 |
| 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の状態 | 180日以内 |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態 | 90日以内 |
| 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態 | 90日以内 |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態 | 60日以内 |
| 股関節又は膝関節の置換術後の状態 | 90日以内 |

## 充実のリハビリテーション体制

（2021.4 現在の職員数）

**理学療法士** 34名

基本的な動作能力の回復

**作業療法士** 27名

食事やトイレ・入浴などの日常生活に欠かせない動作の獲得

**言語聴覚士** 10名

言語機能の改善とコミュニケーションの獲得

**歯科衛生士** 3名

口腔内環境の改善と食べるための口づくり

## リハビリテーション実績

（2020.6～2021.2）

### 患者疾患割合

脳血管疾患 64.9 %
■脳卒中 ■高次脳

運動器疾患 35.1 %
■骨折■術後リハビリ

### 重症から改善された方の割合

57.7 %
基準30 %

### 在宅復帰された方の割合

89.5 %
基準70 %

# 入院・退院のご案内

Flow

## 1 入院相談 / 入院前面談

地域連携部が窓口になります。
現在ご入院中の病院より、診療情報提供書（紹介状）、お身体の状態がわかる書類（看護サマリー、血液検査のデータ）などの情報をいただきます。その後、当院の医師を中心に入院判定会議を行い、紹介元との調整を行います。

【相談受付時間】 月曜日～金曜日　9：00 ～ 17：00（祝日は除く）
土曜日　9：00 ～ 12：00

## 2 入院

転院の搬送は当院より手配します。入院当日は医師よりご説明しますので、ご家族が当院にお越しください。

## 3 リハビリテーション

入院当日より、リハビリテーションを開始します。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれ専門的なリハビリを提供します。

※毎日2時間以上、土日祝も実施（1日最大3時間）

## 4 カンファレンス　インフォームドコンセント

多くの職種でチームを組み、患者さまの状態の確認や退院後の生活について、毎月話合います。
また、患者さまの状態や治療方針をご説明し、患者さまのご家族の希望をききながら、治療を進めます。

## 5 退院準備 / 退院

退院先については、社会福祉士が中心となって、支援します。ご自宅へ戻る場合は、必要に応じ、専門のスタッフが家屋評価のためご自宅へ伺い、住宅改修や福祉用具などのご提案をします。病院や施設へ転院する場合は、状態に応じた医療機関や介護施設・福祉施設をご紹介します。

### 地域連携部が窓口です

私たち地域連携部は、福祉系の国家資格である「社会福祉士」の資格を有するスタッフで構成された部署です。地域連携部の役割は、大きく分けて「入院相談」「入院中及び退院までの過程で生じる不安や疑問、問題に対しての相談支援（退院支援）」と「病床管理」の3つがあります。

### 食環境サポート

各病棟担当の管理栄養士が患者さまお一人おひとりに応じた栄養管理を行っています。
リハビリ栄養を院内で取り組み、食事の飲み込みの悪い方や、麻痺による機能障害のある方には、無理なくお食事していただくために、嚥下調整食を提供し、嚥下機能改善につながるよう支援しています。

### 入院費シミュレーション

右の QR コードを読み取って入院費のシミュレーションをすることができます

回復期リハビリテーション病棟での１日の流れや、
入院中の食事や入浴などについて、
病棟での過ごし方をご紹介します。

| | |
|---|---|
| 7:00 | 起床 |
| 7:20 | 朝食 |
| 8:00 | リハビリ・検査など |
| 11:00 | えん下体操 |
| 11:45 | 昼食・歯磨き |
| 12:00 | リハビリ・検査など |
| 18:00 | 夕食・歯磨き |
| 19:00 | 自主訓練 |
| 20:00 | 入浴・就寝準備 |
| 21:00 | 消灯 |

調理訓練

嚥下体操

リハビリを支える食事

病棟内歩行訓練

スタッフステーション

食堂・デイルーム

個室

２人部屋

４人部屋

ゆったり心地よい空間で透析治療を

# 透析センターのご案内 About Dialysis Center

当院の透析センターでは、医師・看護師・臨床工学技士・臨床検査技師・管理栄養士・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカーによるチーム医療により、より良い透析と日常生活支援を実現します。
室内は落ち着いたトーンで柔らかな光が差し込み、全てのベッドには液晶テレビを設置しておりますので、長い透析時間もゆったり心地よくお過ごしいただけます。
また、感染症などの病状に対応できる透析個室を2室設けております。

## ■診療時間

予約制となっております。電話にて事前予約をお願いいたします。

| 診 療 時 間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前　8：30～ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後　13：00～ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※日曜・祝日はお休みです。

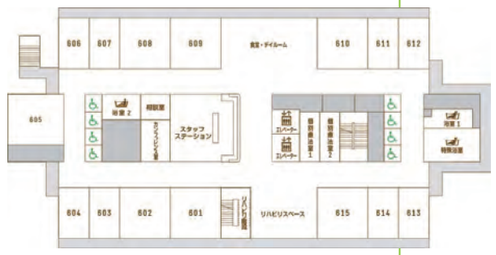
## ■入院対応

透析外来中の患者さまの緊急受け入れが可能です。
入院して集中的にリハビリが必要と思われる透析患者さまも積極的にお受けいたします。

# フロアマップ Floor map

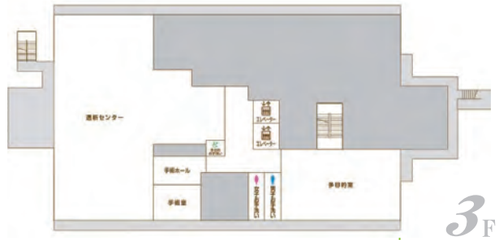
| | |
|---|---|
| 7F | リハビリテーションセンター　リハビリハウス<br>リハビリ階段　リハビリテラス |
| 4F<br>～6F | 病室（401～415・501～515・601～615）<br>リハビリ階段　リハビリスペース　デイルーム |
| 3F | 透析センター　多目的室　手術室 |
| 2F | 総合受付　撮影室　相談・面談コーナー<br>売店（HIROCHUCAFE）　診察室　薬局<br>ラウンジ |
| 1F | エントランス　駐車場 |

7F



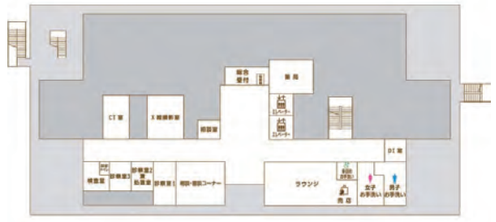

4F～6F

総合受付・ロビー



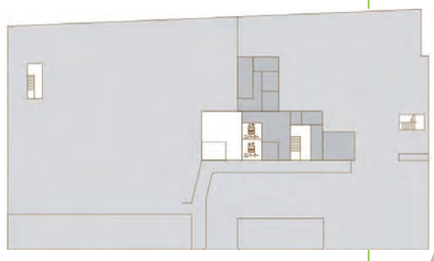

3F

ラウンジ




2F

サービス施設（売店）



1F

**サービス施設（売店）** HIROCHU CAFE
• 2F　• 営業時間　9:30～13:30　/　14:30～17:30